

熊本地震では、建物被害が熊本県に集中しており、断水戸数が約45万戸と、大規模な断水が発生しました※1。あらためて「飲料水の備えの大切さ」が明らかになりました。

「横浜市防災計画」の被害想定では、大地震時には水道管の破損により市内約25%の約40万世帯で断水が発生するとしています※2。

また、水道水をつくったり、蛇口に水道水をお届けしたりするには、電力が不可欠です。具体的には市外取水施設での水のくみ上げ、3か所の浄水場でのろ過処理、水道水をお届けするためのポンプの運転などに多くの電力が必要です。そのため、市内外で停電が発生した場合には、断水する世帯がさらに多くなると考えられます。

同様に、マンションなど自家用ポンプで水道水を上層階にくみ上げている施設では、非常用発電設備がない場合、停電が発生すると断水することとなります。



▲熊本市で給水を受ける人々

**あなたや大切な人を守るため、いざというときに備えて飲料水を備蓄しましょう。**

※1 平成28年(2016年)熊本地震水道施設被害等現地調査団報告書(平成29年3月厚生労働省)

※2 元禄型関東地震発生時の想定(横浜市防災計画(平成29年4月横浜市総務局))

## ●家庭における飲料水の備蓄

水道局では災害に備え、**1人1日3リットル、最低3日分で9リットル以上**の飲料水備蓄をお願いしています。成人1人が1日に体外に排出する水分量は2.5リットル程度といわれていることから、これに若干余裕を加え、1日に必要とする飲料水の量の目安を3リットル程度としています。

災害時には、給水車は病院などを優先して給水します。また、市内にはおおむね1km圏内で飲料水を入手できる災害用地下給水タンクがありますが、夜間や悪天候時には給水作業が困難になることが考えられます。さらに、給水を受ける市民の皆さまは、自ら容器を用意し、長時間順番をお待ちいただくことが想定されます。しかも、重い水(9リットル=9kg)を自宅まで運ぶために、大変な労力を必要とします。

このため、水道局では各ご家庭で最低3日分を目安として、飲料水の備蓄をお願いしています。

なお、体を清潔に保ったり、洗濯をするための生活用水については、飲料水と別に確保する必要があります。



## ●企業における飲料水の備蓄

東日本大震災では、会社から自宅に帰ろうとした多くの方が帰宅困難となりました。横浜市では、平成25年6月に施行された「横浜市災害時における自助及び共助の推進に関する条例」の中で、従業員の一斉帰宅抑制など、企業の努力義務について定め、帰宅困難者対策に取り組んでいます。

発災直後は交通機関の運行停止や、落下物などによる負傷などの危険な状態が想定されるため「むやみに移動しない」ことが肝心です。

このため水道局では、災害時に従業員の皆さまが安心して職場に滞在できるよう「職場での飲料水備蓄」を企業にお願いしています。

備蓄の目安は、家庭と同様に**1人1日3リットル、最低3日分で9リットル以上**です。



▲給水所で順番を待つ人々(仙台市)  
写真提供:村上昭浩氏

## ●飲料水備蓄促進に向けての取り組み

水道局では、市民の皆さまに飲料水備蓄の大切さを知っていただくため、横浜市内の各世帯に配布する「広報よこはま」や「水道・下水道使用水量等のお知らせ」への掲載、防災訓練や各種イベントなどで、飲料水備蓄を促進するための啓発を行っています。

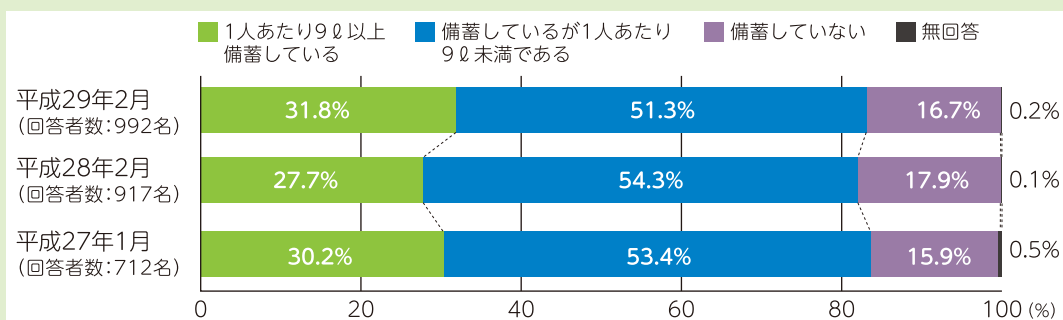
★備蓄水は1人最低3日分9リットル★  
大地震時の断水に備えて、ご家庭や職場での備蓄に最適な横浜水缶大好評発売中！7年保存可500mL×24本入1800円  
ご注文はお客様サービスセンターへ



▲水道・下水道使用水量等のお知らせの検針のお知らせ

### 「ヨコハマeアンケート」結果

問：「あなたのご家庭では、災害に備えてご自宅で飲料水を備蓄していますか。」(単一選択)



## COLUMN コラム

### ご好評いただいています！横浜水缶 7年保存可能

水道局では、家庭や企業などでの飲料水の備蓄に便利な備蓄飲料水「横浜水缶」を販売しています。  
1箱12ℓ (内訳500mL×24本入り) 1800円(税込)、賞味期限は製造から7年となっています。  
長期間の保存ができるので備蓄に最適です。平日の昼間に受け取れない方にもお求めいただけるよう、土日、祝日、夜間(21時までの配達(※)もお受けしています。  
「横浜水缶」ご購入のお申し込みは水道局お客様サービスセンターへ。



はちよんなな  
**電話 045-847-6262** **FAX 045-848-4281**  
おかけ間違いのないようご注意ください。  
※配達料:200円(市内限定) ご注文が11ケース以上の場合、配達料が無料になります。

## COLUMN コラム

### 水道水をポリ容器などでくみ置きする場合の備蓄方法

以下のことにご注意ください。

- 1 清潔でふたができるポリ容器などに口元まで水道水を入れ、**空気が入らない満水の状態**にしてふたを閉めてください。
- 2 水道水を沸騰させたり、浄水器などに通したりすると、塩素による消毒効果がなくなることがあります。水道水は**蛇口からそのまま容器に入れてください。**
- 3 日光の当たらない室内で保管してください。**冬期で1週間、夏期で3日間程度**保存できますので、この期間を目安に水の入替えを行ってください。